

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力のお願い

- マスク着用の徹底:ご来場の際は必ずマスクをご着用ください。
- 大声は出さない!:作品鑑賞中などは大声を出さないようご協力ください。
- 手洗い消毒の徹底:こまめな手洗い・手指消毒にご協力ください。
- 密集の回避:各会場ごとに人数制限や距離をとっての整列にご協力ください。
- 飲食の制限:作品鑑賞やプログラム参加される際の飲食はなるべくお控えください。

東京都防災ホームページ

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1009757/index.html>

本ガイドブックの内容は8月29日時点の情報を掲載しています。

プログラムの実施日時、企画展の会期、施設の営業時間等は、
六本木アートナイトや各施設の公式ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

六本木アートナイトの
最新情報はこちらから!

www.roppongiartnight.com



Twitter @r_artnight

Facebook fb.com/RoppongiArtNight

Instagram @roppongi_art_night_official

#roppongiartnight2022

#六本木アートナイト #六本木アートナイト2022

ミュージアム招待券が当たる!

○アンケートご協力のお願い○

六本木アートナイト2022にご参加いただいた
皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。
抽選で参加美術館の招待券をプレゼントします。

アンケートはこちらから! 受付期間:9月17日~9月25日
www.roppongiartnight.com/2022/question.html



ガイド
ブック



この街で、
アートの
不思議を
探せ!

六本木アートナイト2022

マジカル大冒険

2022.9.17(SAT)→19(MON)

www.roppongiartnight.com

2022テーマ

マジカル大冒険

この街で、アートの不思議を探せ！

六本木に、
世界中からさまざまなアートが集まります。
スペシャルな「ドラえもん」を使った現代美術作品、
街中に点在するインスタレーション作品、
映像やパフォーマンスに加えて、
オンラインで楽しめるアートナイト・デジタルでも
多くの映像作品、トーク・プログラムなどを発信します。

アートの魔法がかけられたこの街は、
不思議が溢れるマジカルな世界に変わります。
アートの不思議を探る冒険に出れば、
驚きと感動を与えてくれる発見があるでしょう。

「ドラえもん」と一緒に、
マジカル大冒険を
お楽しみください。

六本木アートナイトとは

生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、アートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかにながらぎに点在させ、非日常的な体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。 ※2011年は東日本大震災、2020年、2021年はコロナ禍により中止

実行委員長ご挨拶

「六本木アートナイト」は新型コロナウイルス蔓延を受けて2020年5月の開催が中止となり、その後も延期を繰り返して参りました。この度、2022年9月17日(土)から19日(月・祝)の3日間に、「六本木アートナイト2022」として改めて開催できることを心から嬉しく思います。オールナイトとまでは行きませんが、朝から夜まで、六本木の街なかでアート、映像、パフォーマンスをお楽しみいただけます。

テーマは「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ!」。もともと2020年に計画していたコンセプトですが、パンデミックや戦争など地球規模の困難が広がった今日、アートの持つマジカルな力と想像力によって、別世界を旅する体験はますます求められているといえるでしょう。

「六本木アートナイト2022」のメインプログラムは、待ちに待った村上隆の「ドラえもん」モチーフのバルーン作品と、村上さんキュレーションによる12組のアーティストの「ドラえもん」です。「ドラえもん」の四次元ポケットから次々に出てくるひみつ道具は、好きなところに行ける「どこでもドア」や好きな時代に行ける「タイムマシン」など、長いこと子供の心を踊らせてきましたが、空間や時間を自在に超えられる道具は、時代や年齢に限らず誰もが夢を見ることが出来るもの。アーティストとコラボレーションした「ドラえもん」はどのようなマジカルな世界へ私たちに誘ってくれるのでしょうか。

メインプログラムに加え、「六本木アートナイト2022」にはコンセプチュアル・アートのレジェンド、ローレンス・ウィナーや90年代以降の国際芸術祭等で広く知られるキムスージャやマイケル・リンも参加。カラフルでカワイイ作品が特徴の増田セバスチャンは六本木交差点周辺を変身させます。その他、六本木ヒルズ、国立新美術館、東京ミッドタウンから茅洗坂周辺の空きビル空間まで、今年も多数のアーティストによるアート作品やパフォーマンスがみなさまをマジカルな体験へお迎えします。どうぞご期待下さい。

六本木アートナイト実行委員長 片岡 真実 (森美術館 館長)

広域エリアMAP Wide Area Map

東京ミッドタウン周辺エリア 拡大MAP【 p8-9 】

21_21 DESIGN SIGHT

サントリー美術館

東京ミッドタウン

TRI-SEVEN ROPPONGI

天祖神社
龍土神明宮

09 街なか各所

街なか各所で開催するプログラムです

六本木ヒルズ周辺エリア 拡大MAP【 p6-7 】

森美術館

六本木ヒルズ

参加店舗 特別サービス実施

六本木エリアの様々な業種の店舗が六本木アートナイトの開催にあわせて、特別サービスを実施しています！街を巡る途中の休憩やお買物、色々なプログラムを見終わった後の食事など、六本木アートナイトをさらに楽しめる店舗が数多くありますので、ぜひご利用ください。

【参加店舗一覧】
特別サービスを実施



国立新美術館 | タイムスケジュール

No.	PAGE	ARTIST / TITLE	9/17	9/18	9/19
04	p14	メインプログラム/国立新美術館	10:00-20:00	10:00-20:00	10:00-18:00
43	p30	ルートヴィヒ美術館展 20世紀美術の軌跡—市民が創った珠玉のコレクション	10:00-20:00	10:00-18:00	10:00-18:00
44		国立新美術館開館15周年記念 李禹煥	10:00-20:00	10:00-18:00	10:00-18:00
45		今井俊介/untitled	10:00-20:00	10:00-20:00	10:00-18:00
46		三原聡一郎/空白のプロジェクト#4 想像上の修辞法	10:00-20:00	10:00-20:00	10:00-18:00
47	p31	玉山拓郎/NACT View 01 Museum Static Lights	10:00-20:00	10:00-20:00	10:00-18:00
48		<公募展>第106回 二科展	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-14:00
49		クロストーク:今井俊介×沢山遼			16:00-16:45

六本木交差点周辺/六本木各所 | タイムスケジュール

No.	PAGE	ARTIST / TITLE	9/17	9/18	9/19
03	p13	メインプログラム/ラビロス六本木	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
05	p18-19	アートにエールを！広場	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00
12	p32	マイケル・リン/窓	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
50		増田セバスチャン/Polychromatic Skin -Gender Tower-	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
51		増田セバスチャン/Polychromatic Skin -Flower-	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
52		増田セバスチャン/Polychromatic Skin -Gender Wall-	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
53	09	今井俊介/untitled	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
54		ノラ・デザインコレクティブ/つかの間	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
55	p33	原田郁/WHITE CUBE - WHITE CUBE - ROPPONGI 2022	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
56		GengoRaw (石橋友也+新倉健人)、吉田竜二、二口航平、吉田智哉/バスの囁き	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
57	58	リヴァ・クリストフ/人間自動販売機	10:00-22:00	10:00-22:00	10:00-18:00
58		東弘一郎/無限車輪	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00
59	p34	岩田とも子 協働制作 港区立六本木中学校美術部/地面をつかまえる -六本木の地図づくり-	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00
60		水川千春/花の茶室 一つながる水脈-	10:00-18:00	10:00-18:00	10:00-18:00
		六本木街路灯展覧会			

参加ギャラリー・施設

No.	PAGE	GALLERIES & FACILITIES
E	p35	art gallery closet
F		ANB Tokyo
G		WHEREVER
H		KURUM'ART contemporary(605)
I		605

本ガイドブックの内容は8月29日時点の情報を掲載しています。プログラムの実施日時、企画展の会期、施設の営業時間等は、六本木アートナイトや各施設の公式ウェブサイトでご確認ください。



先行展示プログラム

六本木アートナイト2022では先行して六本木の各所で設置・開催するアートナイトのプログラムを「先行展示プログラム」として9月3日より展開します。設置期間を広く設定することで、多くの皆さまに六本木アートナイトをお楽しみいただける機会をつくります。

<https://www.roppongiartnight.com/2022/pre.html>

詳細はこちらのQRコードから公式ウェブサイトをご覧ください。



六本木ヒルズ | タイムスケジュール

No.	PAGE	ARTIST / TITLE	9/17		9/18		9/19	
			10	22	10	22	10	22
01	p10,12	メインプログラム/六本木ヒルズ	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
06	p20	TANGENT/INAHO	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
07		デージーバルーン/Wave	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
08		井口雄介/KALEIDOSCOPE	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
09		ノラ・デザインコレクティブ/つかの間	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
10	p21	檜皮一彦/HIWADROME TYPE ε	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
11		walking practice PROJECT/walking practice : Roppongi Art Night 2022	※アートナイト開催時に撮影した映像を後日、公式YouTubeチャンネル[RAN TV]にて公開予定					
12		マイケル・リン/窓	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
13		ローレンス・ウィナー/HERE FOR A TIME THERE FOR A TIME & SOMEWHERE FOR A TIME	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
14		野口量 x 伊豆牧子/CANDY POP	19:45	21:30	14:00	21:30	14:00	17:30
15		SAYAKA ASAI x Lily(サヤカアサイ x リリィ)/Session.(セッション)	21:00	20:00				
16	p22	マクータ/デウォ・ルチ		18:30				
17		three/Tokyo's Landscape	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
18		六本木ヒルズ&森美術館 まちと美術館のプログラム/つむぐプロジェクト 2020年~2021年活動紹介	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00
19	p23	サントリーウイスキー「響」/HIBIKI THE HARMONY	16:00	22:00	16:00	22:00	12:00	18:00
20		NPO法人 虹色の風/NO BORDERS—画家松守男とアートな仲間たち—	11:00	22:00	11:00	22:00	11:00	18:00
21	p24	KEY TRAD./Amor 邦楽 in 六本木					16:00	16:30
22		東京シティビュー	※時間はウェブサイトにてご確認ください。					
23		誕生50周年記念 ベルサイユのばら展—ベルばらは永遠に—	※時間はウェブサイトにてご確認ください。					
24	p25	特別展アリス— へんてこりん、へんてこりんな世界 —	10:00	20:00	10:00	20:00	10:00	20:00
25		田島大介/BEYOND THE LINES 超越界限	12:00	20:00	12:00	20:00	12:00	20:00
26	p25	地球がまわる音を聴く:パンデミック以降のウェルビーイング	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00
27		①MAMコレクション015:仙境へようこそ—やなぎみわ、小谷元彦、ユ・スンホ、名和晃平 ②MAMスクリーン016:ツァオ・フェイ(曹斐) ③MAMリサーチ009:正義をもとめて—アジア系アメリカ人の芸術運動	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00

参加ギャラリー・施設

No.	PAGE	GALLERIES & FACILITIES
A	p25	禪フォトギャラリー

本ガイドブックの内容は8月29日時点の情報を掲載しています。プログラムの実施日時、企画展の会期、施設の営業時間等は、六本木アートナイトや各施設の公式ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。



		東京ミッドタウン周辺 タイムスケジュール								
No.	PAGE	ARTIST / TITLE	9/17		9/18		9/19			
			10	22	10	22	10	22		
02	p13	メインプログラム/東京ミッドタウン	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
13	p26	ローレンス・ウィナー / HERE FOR A TIME THERE FOR A TIME & SOMEWHERE FOR A TIME	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
28		キムスージャ / 演繹的なもの	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
29		古屋崇久 / 人工能による顔の識別	11:00	20:00	11:00	20:00	11:00	18:00		
30		magma / ROCK'N	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
31		松田将英 / The Big Flat Now	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
32		牧野永美子 / あかるい場所	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
33		坂本洋一 / Floating Surface	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	18:00		
34	p27	山本千愛 / 犬も歩けば棒に当たる	13:30	19:00	13:30	19:00	13:30	18:00		
35		小野冬黄 / インテリア	11:00	20:00	11:00	20:00	11:00	18:00		
36		関口光太郎と六本木の人人々 / 新聞紙とガムテープで包まれた凱旋門とエッフェル塔	10:00	19:00	10:00	19:00	10:00	19:00		
37		現代アート「アート&キャラクター」	11:00	20:00	11:00	20:00	11:00	20:00		
38		美をつくしー大阪市立美術館コレクション	10:00	20:00	10:00	20:00	10:00	18:00		
39	p28	山中遼晶 / 飛天-Celestial maiden	13:30	14:15	15:30	16:15	18:00	18:45		
40		「六本木アートクルーズ」記録映像上映	10:00	20:00	10:00	20:00	10:00	18:00		
41		クリストとジャンヌ=クロード "包まれた凱旋門"	10:00	19:00	10:00	19:00	10:00	19:00		
42		コミュニケーションツアー		11:00	12:00		11:00	12:00		

先行展示プログラム

六本木アートナイト2022では先行して六本木の各所で設置・開催するアートナイトのプログラムを「先行展示プログラム」として9月3日より展開します。設置期間を広く設定することで、多くの皆さまに六本木アートナイトをお楽しみいただける機会をつくります。

<https://www.roppongiartnight.com/2022/pre.html>

詳細はこちらのQRコードから公式ウェブサイトをご覧ください。



参加ギャラリー・施設

No.	PAGE	GALLERIES & FACILITIES
B		Hideharu Fukasaku Gallery Roppongi
C	p29	フジフィルム スクエア
D		メルセデス ミー東京/EQ House

本ガイドブックの内容は8月29日時点の情報を掲載しています。プログラムの実施日時、企画展の会期、施設の営業時間等は、六本木アートナイトや各施設の公式ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。



© Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

六本木ヒルズ

No. 01



📍 六本木ヒルズアリーナ 🕒 9/17,18 10:00~22:00 9/19 10:00~18:00 💰 無料

村上隆の代表作「お花」を描いた、過去最大級の高さ10mの「ドラえもん」バルーンが登場します。日本を代表するアイコン「ドラえもん」を、村上隆の世界観でポップアート作品に仕上げます。

MAIN ARTIST



Photo by RK (IG: @rkrkrk)
©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©Fujiko-Pro

村上隆 Takashi Murakami

1962年、東京生まれ。日本の伝統絵画と現代美術の源流をアニメ・マンガの視覚論を通して再構想する「スーパーフラット」論を提唱。MissKo²とDOB君など、おたく文化を反映したキャラクターを多く生み出し、キッチュ性の高い彫刻作品と西洋の透視図を対極とする超二次元的な絵画を発表している。また、ルイ・ヴィトンとのコラボレーションや、ストリートカルチャーと現代陶芸に着目した近年の活動を通して、現代美術の垣根を超えた観客層を世界中で獲得し続けている。

ARTIST COMMENT FOR
ROPPONGI ART NIGHT 2022

六本木アートナイトは、都合3回、スケジュールを変えました。コロナ禍が発生した直後と、東京都の緊急事態宣言発令による2回。今回は4回目の正直となる訳ですが、いよいよ、2年半の時を経て、私、村上隆によるキュレーションで『ドラえもん』と、13名のアーティスト達とのコラボレーションをしたバルーンの展示が行われます。コロナ禍は、在宅で行き場のないモヤモヤを抱えた人々を大量に生み出し、世界的に、ゲームやネットへの依存を助長させました。その流れで、日本のコンテンツ、特に漫画やアニメに触れる機会が格段に増え、理解も深まったと思います。中でも『ドラえもん』は、日本とアジアにおいて、とても重要なコンテンツです。主人公がイケてなくて、モジモジしていて、それを助ける耳の無いネコ型ロボットがいて、しかし、そのモジモジ君の問題が解決されることはない。けれども、取り敢えず、笑って生きていこう...。そういう、この作品の持つ、ある意味“ドリームスクラムトゥルー”と真逆の人生哲学が、いま、アジアの人々の心により強く沁み込んでいるのではないかと。言うならば、『ドラえもん』はアメリカのミッキーマウスのような、アジアのアイコン的なキャラクターです。ゆえに、僕も日本の象徴として、これまでコラボレーションさせて頂いてきましたが、今回は、13名のアーティストに声を掛けて、『ドラえもん』と日本人アーティストのコラボレーションを、さらに展開してみました。ARでの体験も、できたら何箇所か用意したいなあ、と考えていたりします。とにかく、是非とも、楽しんでください。

六本木アートナイト2022を彩る12組のアーティスト

村上隆のプロデューサー的な側面も楽しめるのが、今回の見どころのひとつ。村上隆がキュレーションした気鋭のアーティスト12組13名が集結し、多彩なドラえもんのバルーンアートを手掛けました！

六本木ヒルズアリーナ→P12

細川雄太



©Yuta Hosokawa

くらやえみ



Photo by IKKI OGATA
©Emi Kuraya/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

ob



Photo by Hiroki Tadano
©ob/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

T9G



©T9G

ナカザワショウコ



©Shoko Nakazawa

村田森



Photo by Fusako Murata
©Shin Murata/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

青島千穂



Photo by Kentaro Matsumoto
©Chihoko Aoshima/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

国立新美術館→P14

Mr.



Photo by Claire Dorn
©Mr./Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

大谷工作室



Photo by Claire Dorn
©Otani Workshop/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

TENGAone



Photo by RK(IG: @rkrkrk)
©TENGAone/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

Kasing Lung



©Kasing Lung, All rights reserved.

タカノ綾



Photo by Claire Dorn
©Aya Takano/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

ラピロス六本木→P13

MADSAKI



Photo by RK(IG: @rkrkrk)
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



Special Thanks



藤子・F・不二雄

本名、藤本弘（ふじもとひろし）。1933(S8)年12月1日、富山県生まれ。1951年、「天使の玉ちゃん」でデビュー。安孫子素雄氏と2人で、「藤子不二雄」名義の作品を発表。1987年にコンビ解消後、「藤子・F・不二雄」として児童漫画の新時代を築く。代表作は「ドラえもん」「オバケのQ太郎(共著)」「パーマン」などヒット作多数。



六本木ヒルズ

No. 01

📍 六本木ヒルズアリーナ 🕒 9/17、18 10:00~22:00 9/19 10:00~18:00 🎫 無料

村上隆の高さ10mのドラえもんバルーンを中心に、六本木ヒルズアリーナでは7アーティストによる6つの作品が展示されます。



©Yuta Hosokawa ©Fujiko-Pro

細川雄太

2013年、アップサイクルブランド「READYMADE」をスタートし、バッグを発表。アメリカで知名度を上げ、日本でも人気を博した。2021年には同ブランドよりペットボトルのキャップから制作した椅子を発売するなど、制作の幅を広げている。



©Emi Kuraya/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

くらやえみ

多摩美術大学絵画学科油画専攻を卒業したばかりの新鋭。日本の郊外の風景に佇む少女をモチーフとしたペインティングは、青春期における繊細な痛みと哀愁を漂わせ、見る者の心を捉えて離さない。



©ob/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

ob

ゲームやSNSを身近に育った第一世代アーティスト。大きな瞳の少女をモチーフに繊細で幻想的な世界を表現する。2013年にはshu uemuraとコラボ、2020年には蛸川実花監督が手掛けるNetflixオリジナルドラマ「FOLLOWERS」へ劇中作品を提供した。



©T9G ©Shoko Nakazawa ©Fujiko-Pro

T9G

主にドールアイを使用し、独特な世界観を具現化した立体造形作品を制作。

ナカザワショーコ

可愛い怪獣をテーマに日本だけでなくアジアを中心に欧米でも個展やイベントで活動中。



©Shin Murata/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

村田森

陶芸作家。2020年に料理とうつわの究極の調和を求め、陶芸術や書、絵などを展示、販売するプラットフォーム「となりの村田」を、村上隆とともに京都・岡崎に設立した。



©ChinoAoshima/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

青島千穂

デビュー時のAdobeのIllustratorを駆使したデジタルドローイングに始まり、デジタルアニメーション、彫刻、ドローイング、陶芸など、デジタルからアナログまで自在にメディアを使いこなして、独特のアニミズム的な世界を展開する。

東京ミッドタウン

No. 02

📍 東京ミッドタウン 🕒 9/17、18 10:00~22:00 9/19 10:00~18:00 🎫 無料

青空のようなブルーが印象的な村上隆による高さ4mのバルーン作品を展示します。



©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

ラピロス六本木

No. 03

📍 ラピロス六本木 🕒 9/17、18 10:00~22:00 9/19 10:00~18:00 🎫 無料

1体でも圧倒的な存在感！ドラえもんバルーンを中心に、非日常を感じる空気が漂います。



©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

MADSAKI

日本とアメリカにまたがる複雑なアイデンティティから生まれるテーマを大胆なスプレーワークで表現する。挑発的、風刺的なフレーズ、歴史上の名画が題材のシリーズを製作し近年は私小説的でプライベートな絵画シリーズも展開。

国立新美術館

No. 04

📍 国立新美術館 🕒 9/17、18 10:00~20:00 9/19 10:00~18:00 💰 無料

国立新美術館には5体のバルーン作品が登場します。ずらりとドラえもんに囲まれるようなマジカルな世界！



©Mr. Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

Mr.

現代美術におけるアニメ美少女モチーフの草分け的存在。戦後日本の心象風景が描き出された作品は、海外で高い評価を受け、近年は中国やアメリカでの美術館個展を開催。



©Otani Workshop/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

大谷工作室

滋賀県信楽を拠点に陶、木、鉄など様々な素材による器、オブジェを制作している。荒目の土の表情を生かしながら焼き締められた作品は外見のかわいらしさとともに彫刻として独特の存在感を放つ。



©TENGAone/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

TENGAone

東京を拠点に活動するストリートアーティスト。アーティスト名は「画が天職(天画)」から。街中のグラフィティ、商業・公共施設の巨大ミュージーラル、スカルプチャー、グラフィックデザインなど、制作のジャンルは多岐にわたる。



©KasingLung, All rights reserved. ©Fujiko-Pro

Kasing Lung

子供向けのイラストレーターでもあるアーティスト。フィギュアの制作も盛んで、「The Monsters」のシリーズからはこれまでに300を超えるバリエーションがリリースされた。2016年以降、ペインティングとドローイングアートに集中している。



©Aya Takano/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

タカノ綾

SF的想像力を駆使した彼女の作品では、現実の世界もミステリアスな異世界に転じる。近年、その絵画的物語性はより成熟し、神話的なスケールにまで到達している。SF漫画の著作もある。

広場展開 ACTIVITIES IN THE SQUARE

六本木ヒルズアリーナでは村上隆と村上隆がキュレーションしたアーティストによる7体のインスタレーションが常時公開されるほか、特別イベントやパフォーマンスなどを日替わりで実施、また大型映像装置を使って様々な映像作品が上映されます。

インスタレーション



©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

高さ10メートルにおよぶ村上隆の巨大ドラえもん村上隆がキュレーションしたアーティストによる2メートルのドラえもん6体は常時公開中。(詳細はp10~12参照)
参加アーティスト:村上隆、細川雄太、くらやえみ、ob、村田森、青島千穂、T9G、ナカザワショーコ

※イベント開催時、待機列を作った入場または鑑賞エリアの制限をすることがあります。また強風・雨天時など天候によっては鑑賞を一時中断することがあります。

パフォーマンスやイベント

オープンコール・プロジェクト(作品公募プロジェクト)で採択されたパフォーマンス作品を中心としたイベント(詳細はp21、p22参照)を日替わりで公開します。

※天候その他の影響により予告なく時間や演目の変更をすることがあります。



野口量 × 伊豆牧子
「CANDY POP」



SAYAKA ASAI × Lily(サヤカアサイ × リリイ)
「Session.(セッション)」



マクータ
「デウォ・ルチ」

9/17(土)

17:30~	キックオフセレモニー
18:30~	アーティスト・トーク「村上隆と仲間たち」
19:45~	パフォーマンス「CANDY POP」
21:00~	パフォーマンス「Session.」

9/18(日)

14:00~	パフォーマンス「CANDY POP」
18:30~	パフォーマンス「デウォ・ルチ」
20:00~	パフォーマンス「Session.」
21:30~	パフォーマンス「CANDY POP」

9/19(月)

14:00~	パフォーマンス「CANDY POP」
17:30~	パフォーマンス「CANDY POP」

スケジュールは天候その他の都合で予告なく変更の可能性がありますので公式ホームページにてご確認ください。
www.roppongiartnight.com

映像上映



オンラインで公開中の六本木アートナイト・デジタル(詳細はp38、39参照)映像作品、今回実施する六本木アートナイトの作品紹介など、さまざまな映像を随時上映します。

※イベント開催による上映中断時間があります。

六本木アートナイトグループ展

📍 カイカイキキギャラリー

東京都港区元麻布2-3-30 元麻布クレストビルB1F
☎ 03-6823-6038

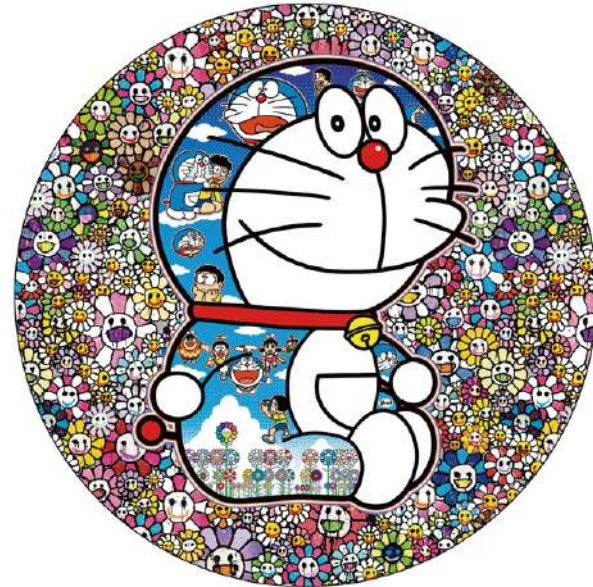
🕒 9月9日(金)~24日(土)

開廊時間 11:00~19:00

💎 入場無料

カイカイキキギャラリーでは「六本木アートナイト2022」の開催を祝して、所属アーティストとゲストアーティストを招いたグループ展を開催いたします。

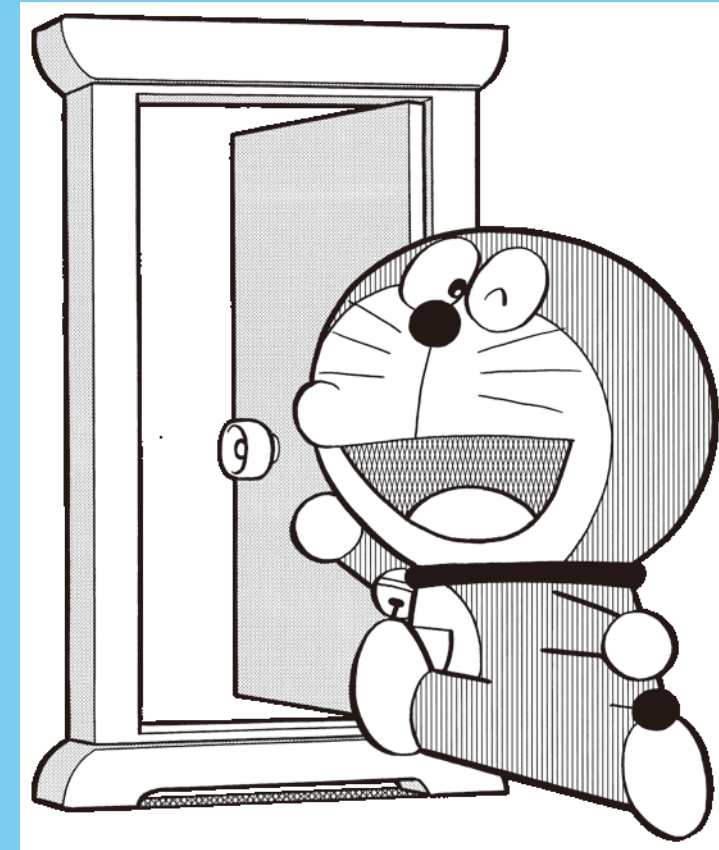
最新情報はギャラリーの公式ウェブサイト・Instagram等で随時お知らせします。



©2022 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

See you at the museum.

それじゃあ、
ミュージアムで。



<http://fujiko-museum.com>

川崎市 藤子・F・不二雄
FUJIKO・F・FUJIO MUSEUM

響

HIBIKI THE HARMONY

SUNTORY WHISKY MEETS

HOSOO 古代染色研究所

響きあう、日本の美意識

日本の自然、悠久の時、匠の技が響きあう、サントリーウイスキー「響」。「響」の思想を表す色“深紫(こきむらさき)”が彩る空間で、調和から生まれた華やかな香りや繊細な味わいをお楽しみください。

9/17(土) - 9/19(月・祝)

六本木ヒルズ 大屋根プラザ

*開催時間や内容などの詳しい情報は「響」公式サイトをご確認ください。



アートにエールを！ 広場



NOVOL



田中紳次郎

No. 05

アートにエールを！広場

📍 六本木西公園 P4マップをご参照ください 🕒 9/17~9/19 10:00~18:00 🆓 無料

「アートにエールを！東京プロジェクト」は、コロナ禍においても文化の灯を絶やさないため、東京都が全国に先駆けて始めた芸術文化活動支援事業です。活動を自粛せざるを得ないプロのアーティストやスタッフ等が制作した映像作品を発信することで活動を支援するとともに、多くの方にアートに触れられる機会を提供しています。

この「アートにエールを！広場」は、「アートにエールを！東京プロジェクト」“美術部門”よりセレクトされた方に六本木西公園でライブペインティングを行っていただく企画です。リアルなパフォーマンスと作品をお楽しみください。

また、そのほかにも、「アートにエールを！東京プロジェクト」にも参加している3名のアーティストの作品もあわせて紹介いたします。



ライブペインティング出演者

※各ライブペインティング日時は変更の可能性がありますのでご了承ください。



田中紳次郎/アーティスト
🕒 9/17 10:00~13:00



伊東明日香/美術家
🕒 9/17 13:00~15:30



NOVOL/Painting Artist
🕒 9/17 15:30~18:00



Maki Emura/illustrator,graphic designer
🕒 9/17 15:30~18:00



MILTZ/Graphic Artist
🕒 9/18 10:00~13:00



福士悦子/イラストレーター・デザイナー
🕒 9/18 10:00~13:00



伊藤由華/画家
🕒 9/18 13:00~15:30



スサイタカコ/美術家
🕒 9/18 15:30~18:00

ドキュメンタリー映像

アートにエールを！広場で開催するライブペインティングのドキュメンタリー映像を六本木アートナイト2022終了後、YouTubeチャンネル「RAN TV」で公開します。

「アートにエールを！東京プロジェクト(個人型)」公式ウェブサイトには、美術だけでなく音楽、演劇、舞踊、映像、伝統芸能などにジャンルが分かれ7,000件を超える映像作品を紹介しています。東京の多様な文化、素晴らしいアーティストや魅力あふれる作品との出会いがあるはず。https://cheerforart.jp/

インスタレーション作品

下記アーティストは「アートにエールを！東京プロジェクト」に参加しています。



東弘一郎「無限車輪」
六本木西公園
No.57



井口雄介「KALEIDOSCOPE」
六本木ヒルズ66プラザ
No.08



古屋崇久「人工知能による顔の識別」
東京ミッドタウン ガレリア2階
No.29

カテゴリー

街なかインスタレーション

街なかの様々な場所に展示された作品をお楽しみいただけます

街なかパフォーマンス

多彩なパフォーマンスやライブなどをお楽しみいただけます

街なかミーティング

ワークショップやツアーなど参加型の作品をお楽しみいただけます

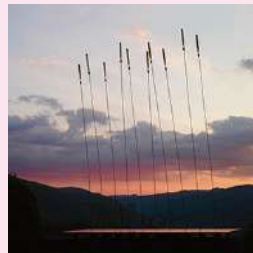
鑑賞区分

👁️ 観る 🗣️ 聴く 🧑 体験する

六本木ヒルズ

Roppongi Hills

街なかインスタレーション



No. 06

TANGENT
「INAHO」

📍 六本木ヒルズノースタワー ルルレモン前

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

夏の終わり、黄金に輝き風に揺れる稲穂にインスピレーションを受けた、フロアライト/インスタレーション。人感センサーとソレノイドを搭載し、人が近づくと穂が揺れ始め、LEDに光が灯る。人が離れると、光と揺れがゆっくりと止む。

街なかインスタレーション



No. 07

デイジーバルーン
「Wave」

📍 六本木ヒルズ メトロハット

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

スポーツ観戦の応援などで使用されているスティック型バルーンを1万個以上使用して制作されたインスタレーション。過去と未来を繋ぐ「現在」を生きている人々を応援し、勇気付けたいという想いが込められた作品です。

街なかインスタレーション



No. 08

井口雄介
「KALEIDOSCOPE」

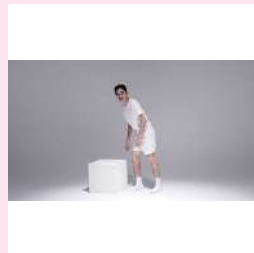
📍 六本木ヒルズ 66プラザ

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

街並みを多彩に変化させる巨大自走式万華鏡。来場者が自転車のようにペダルを漕ぐことで全長2mの巨大な万華鏡が動き出し、そこに映り込んだ景色が切り抜かれ動き出す。まるで町全体の風景を一人の力で動かしているかのような不思議な装置。

街なかインスタレーション



No. 09

ノラ・デザインコレクティブ
「つかの間」

📍 六本木ヒルズ ウェストウォーク2階
ヒルズカフェ/スペース

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

画面の中には人が住んでいます。どこの誰かもわからない。関わることができるのは数秒間だけ…。私たちは、日常の一部として見かけようになった消毒液のディスペンサーをインターフェースと捉えなおし、新たな映像再生装置として六本木アートナイトの各所に設置/展示します。見つけたら、消毒をしながら部屋を覗いてみてください。

街なかインスタレーション



No. 10

檜皮一彦
「HIWADROME TYPE E」

📍 六本木ヒルズ ウェストウォーク2階

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

(HIWADROME TYPE E)

本作は、約60台の車椅子が5メートルほどの高さに積み上げられ、LEDや鉄の構造体が組み合わさった立体作品です。檜皮は、自身の障がいと車椅子という形で作品の主題に扱うことで、それを強みとする独自の表現を創り出します。

街なかミーティング



No. 11

walking practice PROJECT
「walking practice : Roppongi Art Night 2022」

📍 六本木アートナイト 2022会場各所

※アートナイト開催時に撮影した映像を後日、公式YouTubeチャンネル[RAN TV]にて公開予定

(Walking Practice)

車椅子をツアー参加者が押したり、移動させながら、六本木アートナイト2022の展示をアーティストの檜皮一彦と共に鑑賞する。ツアーの参加者、そして鑑賞者は、車椅子から観た視点を獲得し、バリアフリーや身体性についても考えることになるでしょう。

街なかインスタレーション



No. 12

マイケル・リン
「窓」

📍 六本木ヒルズ ウェストウォーク2階

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

(窓)2018年
展示風景:台湾高速鉄道、台中駅

東京と六本木にインスピレーションを受けた新作では、ジオットハウスと六本木ヒルズ・ウェストウォーク南のファサードという規模も背景も異なる2つの場所で、台湾の伝統的な格子窓から流用したコイン模様のモチーフが展開されます。

街なかインスタレーション



No. 13

ローレンス・ウィナー
「HERE FOR A TIME
& SOMEWHERE FOR A TIME」

📍 六本木ヒルズ ウェストウォーク2階、
ヒルサイド1階

🕒 9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

🆓 無料

1/2はじまった、1/2終わった、たといつてであろうとも
2008年/2016年 石川文化振興財団所蔵
©Lawrence Weiner, Okayama Art Summit 2016
Courtesy of TARO NASU Photo: Yasushi Ichikawa

東京や六本木の歴史や現在にインスピレーションを得た作品が、六本木ヒルズや東京ミッドタウンなど数カ所で展示されます。英語と日本語で書かれた言葉や文字が伝える意味や心象の、翻訳しようとしてもしきれない何か、作品として提示されます。

街なかパフォーマンス



No. 14

野口量 x 伊豆牧子
「CANDY POP」

📍 六本木ヒルズアリーナ

🕒 9/17 ①19:45~
9/18 ①14:00~ ②21:30~
9/19 ①14:00~ ②17:30~

🆓 無料

約2年半に渡り刻々と変わる世界に生きる私たち。それと共にカラフルな色の《CANDY POP》という花も変化しました。一輪車と新体操によるパフォーマンスはこんな不安定な世の中でも誰もが幸せに生きる希望をアートを通じてここ六本木から発信します。

街なかパフォーマンス



No. 15

SAYAKA ASAI x Lily
(サヤカアサイ x リリィ)
「Session.(セッション)」

📍 六本木ヒルズアリーナ

🕒 9/17 ①21:00~
9/18 ①20:00~

🆓 無料

Session.

「足音x氷音のセッション。」タップアーティスト、Lily。足の音を彼の声とする。氷染作家 SAYAKA ASAI。氷の溶ける音を彼女の声とする。大地の声、海の声。異なる2人のアーティストによる、新しい対話の世界とは。

街なかパフォーマンス

No. 16



マクータ
「デウォ・ルチ」

六本木ヒルズアリーナ

9/18 18:30~

無料

Dewa Ruci(Makutha)

デウォ・ルチはインド起源の物語マハーバーラタの一節。パンダワー族のビマが聖なる水を求めて旅をし、海の中で龍との激闘を経て、自身の内なる神デウォ・ルチに出会うという物語。

No. 18



六本木ヒルズ&森美術館
まちと美術館のプログラム

つむぐプロジェクト
2020年~2021年活動紹介

六本木ヒルズ
けやき坂コンプレックスB1階

9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

無料

撮影:田山達之

六本木ヒルズ15周年を機に始まった地域コミュニティとの参加型アートプロジェクトです。六本木に縁のある参加者が、対話を通して紡ぐそれぞれの六本木の物語の映像や、“力の源泉なる食”をテーマに制作した写真作品を展示します。

No. 17



three

「Tokyo's Landscape」

六本木ヒルズ ウェストウオーク2階

9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00

無料

「Tokyo's Landscape」2008年
素材:しょうゆ差し, FRP, 水, インク サイズ:H240 X W240 X D80 cm

《Tokyo's Landscape》は魚型のしょうゆ差しを使った作品です。カラフルな色水の入ったしょうゆ差し一つ一つを、現代に生きる人々になぞらえ大量に集合させることで、群衆の様相やその振る舞いが表現されています。

協賛プログラム

No. 19



「HIBIKI THE HARMONY」

六本木ヒルズ 大屋根プラザ

9/17, 18 16:00~22:00
9/19 12:00~18:00

無料 ※ただし、ご飲食の料金は別途がかかります。

協力:京朝酒陣(HOSOO)

日本の自然、悠久の時、匠の技が響きあう、サントリーウイスキー「響」。「響」の思想を表す色“深紫(こきむらさき)”が彩る空間で、調和から生まれた華やかな香りや繊細な味わいをお楽しみください。
※開催日時や内容は変更となる場合がございます。最新情報は「響」公式サイトをご確認ください。

ROPPONGI ART NIGHT CAFÉ

No. 20



NPO法人 虹色の風

「NO BORDERS—画家松井守男とアートな仲間たち—」

六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

9/13~9/16 11:00~20:00 9/17, 9/18 11:00~22:00 9/19 11:00~18:00

無料

9月13日からスタートするアートナイトカフェでは、2019年開催でも好評を博したアールブリュットをテーマとした作品展を今年も開催。

光の画家 松井守男の作品に、子供たちの作品がとても自然に溶け込んでいる。

「純粹に感動する心」はあらゆる垣根を越え、多様な共存の形を提案してくれる。

アートの未来は無限大!新しい試みの作品展。

参加作家:松井守男、NPO法人虹色の風(平山亮、廉、志保)、NPO法人たいらか(MIFUYU)、

アトリエAUTOS(持田想一)、自然生クラブ(佐藤皓平、高田祐、萩原達也、森下慶一)



松井守男先生と子どもたち「プリズム」

No. 21



KEY TRAD.

「Amor 邦楽 in 六本木」

六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

9/19 16:00~16:30
※15:00より入場整理券配布

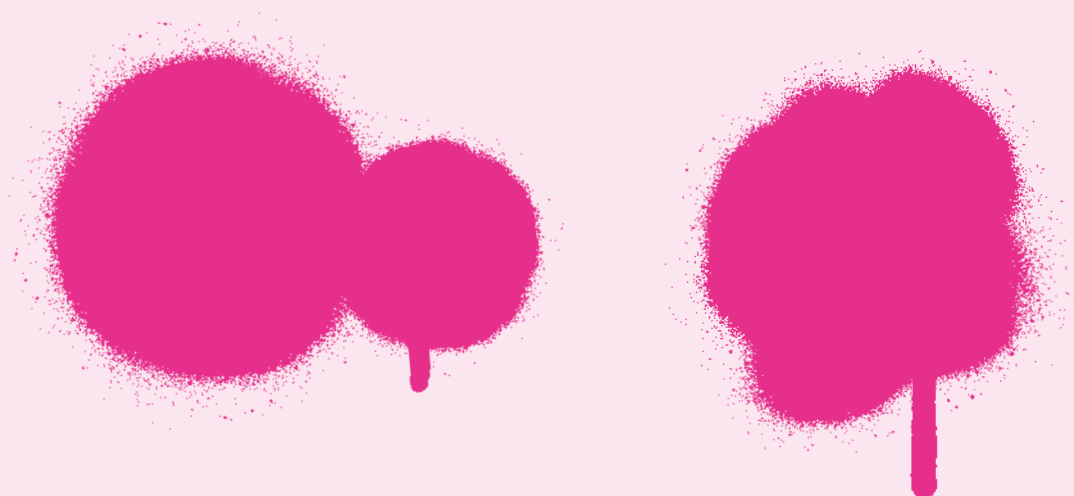
無料

伝統は一日にして成らず!千年を超えて生き続けてきた激しく、儂く、しなやかな日本の音。古典の名人芸から即興演奏まで邦楽の魅力と可能性をまるごと楽しめるライブです。かつて日本人の生活の一部だった邦楽はこんなにも自由で過激だった!?



六本木アートナイト歴史展

2009年にスタートしこれまで10回の開催を重ねた六本木アートナイト。その歴史を、各回の主要なプログラムを中心に振り返ります。



森美術館 Mori Art Museum

No. 22

東京シティビュー

- 📍 東京シティビュー (六本木ヒルズ森タワー52階)
- 🕒 開館時間はウェブサイトにてご確認ください。
- 💰 料金はウェブサイトにてご確認ください。



東京の中心に位置する、海拔250メートルの屋内展望台。東京タワー、東京スカイツリーなど、首都東京のランドマークはもちろん、天気の良い時は富士山までもが一望でき、「都市という名のアート」を鑑賞することができます。

企画展

No. 23

「誕生50周年記念
ベルサイユのばら展
ーベルばらは永遠にー」

- 📍 東京シティビュー (六本木ヒルズ森タワー52階)
- 🕒 9/17~11/20
- 💰 料金はウェブサイトにてご確認ください。



©池田理代子プロダクション

50年前の貴重な原画を、執筆当時の池田理代子氏の想いや言葉を交えながら展示します。海拔250メートルの展望台 東京シティビューからの絶景と「ベルサイユのばら」が織りなす夢のような世界観をお楽しみください。

企画展

No. 26

「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」

- 📍 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)
- 💰 [平日] 一般 1,800円(1,600円)
学生(高校・大学生)1,200円(1,100円)
子供(4歳~中学生)600円(500円)
シニア(65歳以上)1,500円(1,300円)
[土・日・祝日] 一般 2,000円(1,800円)
学生(高校・大学生)1,300円(1,200円)
子供(4歳~中学生)700円(600円)
シニア(65歳以上)1,700円(1,500円)
- 🕒 6/29~11/6
10:00~22:00(最終入館 21:30)
※火曜日のみ17:00まで(最終入館 16:30)
※会期中無休



堀尾貞治 「色塗り」シリーズ 1985-2018年 ミクストメディア
所蔵：一般財団法人堀尾貞治記念会
展示風景：「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」森美術館(東京)2022年
撮影：東田 登 画像提供：森美術館

国内外のアーティスト16名の作品約140点を紹介。パンデミック以降の新しい時代をいかに生きるのか、心身ともに健康である「ウェルビーイング(よく生きること)」とは何か、を現代アートに込められた多様な視点をとおして考えます。

※専用オンラインサイトでチケットを購入すると()の料金が適用されます。

企画展

No. 24

「特別展アリスー へんてこりん、へんてこりんな世界ー」

- 📍 森アーツセンターギャラリー (六本木ヒルズ森タワー52階)
- 🕒 7/16~10/10 10:00~20:00
※月・火・水曜は18:00まで ※9/19、10/10は20:00まで
※最終入館は閉館30分前まで
※全期、開館時間は変更の可能性があります。
※来館前に必ず本展公式サイトをご確認ください。
- 💰 [平日] 一般 2,100円 大学生・専門学校生 1,500円
高校生 1,300円 小中学生 700円
[土・日・祝日] 一般 2,300円 大学生・専門学校生 1,700円
高校生 1,500円 小中学生 900円



19世紀から現代にかけて、アート、映画、音楽、ファッション、演劇、写真など様々なジャンルで表現されてきた『不思議の国のアリス』の世界とその広がりを紹介する展覧会です。アリスにまつわる作品や資料約300点が一堂に会します。

企画展

No. 25

田島大介
「BEYOND THE LINES 超越界限」

- 📍 六本木ヒルズA/Dギャラリー (六本木ヒルズ ウェストウォーク3階)
- 🕒 9/16~10/10 12:00~20:00
- 💰 無料



〈無限之超大画II〉454.0x220.0 cm
ケント紙、インク ©Daisuke Tajima 2020

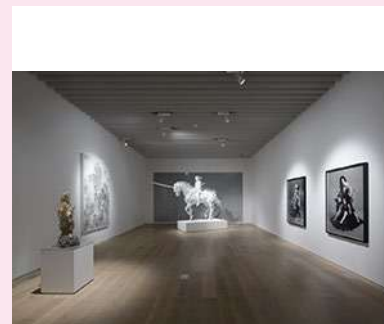
圧倒的な迫力を放ち、かつ刹那的な気配も漂わせる都市風景を描く、田島大介の待望の画集『BEYOND THE LINES』のリリースに合わせて個展を開催します。画集掲載の大作を中心に展示する予定です。

企画展

No. 27

- ①「MAMコレクション015:仙境へようこそーやなぎみわ、小谷元彦、ユ・スンホ、名和晃平」
- ②「MAMスクリーン016:ツァオ・フェイ(曹斐)」
- ③「MAMリサーチ009:正義をもとめてーアジア系アメリカ人の芸術運動」

- 📍 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)
- 🕒 6/29~11/6 10:00~22:00(最終入館 21:30)
※火曜日のみ17:00まで(最終入館 16:30)
※会期中無休
- 💰 「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」のチケットで観賞可
- ① 古来、理想郷の1つとされてきた仙境へ私たちが誘う、4名の作家の作品を展示。
- ② ツァオ・フェイの長編映像作品を上映。
- ③ 1960年以降にアメリカで実践されたアジア系の作家や音楽家らの文化活動などを紹介。



展示風景：「MAMコレクション015:仙境へようこそーやなぎみわ、小谷元彦、ユ・スンホ、名和晃平」森美術館(東京)2022年
撮影：東田 登 画像提供：森美術館

六本木ヒルズ周辺エリア 参加ギャラリー・施設

Participating Art Galleries & Facilities in the area around Roppongi Hills

MAP

A

特別企画実施



グランド ハイアット 東京
特別ディナーコース

対象期間：2022年9月10日(土)~19日(月・祝)

9月10日(土)~19日(月・祝)の期間、グランド ハイアット 東京のレストラン「フィオレンティーナ」と「オーグ ドア」にて、六本木アートナイト2022 スペシャルチケット(展覧会優待券)*付き特別ディナーコースをご用意しています。アートナイトを楽しむ前にホテルで優雅なディナーを過ごしてみたいかでしょうか。

*森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHTにて開催する展覧会へご入場いただけるほか、国立新美術館の展覧会には100円割引でご入場いただけます。

詳細はこちらのQRコードから
公式ウェブサイトをご確認ください。



禪フォトギャラリー

- 📍 港区六本木6-6-9 ピラミデビル208
- 🕒 9/17 12:00~19:00
9/18、19 休
- ☎ 03-6804-1708
- 💰 展覧会は無料、対話型鑑賞会は参加費1,000円(要予約)
- [WEB] <https://zen-foto.jp>
- [IG] @zen_foto_gallery
- [FB] @zenfotogallery



©Yang Seung-Woo, courtesy of Zen Foto Gallery

第36回土門拳賞を受賞した写真家・梁丞佑(ヤンスンウー)の新作写真集『TEKIYA』の刊行に合わせ、写真展を開催。9/17(土)11時より事前予約制にて美術ファシリテーターの小田川悠氏を迎え対話型鑑賞会を行います。参加希望者は前日までにinfo@zen-foto.jpへメールで予約。



東京ミッドタウン Tokyo Midtown

街なかインスタレーション



1/2はじまった、1/2終わった、たとえいつであろうとも
2006年/2016年 石川文化振興財団所蔵
©Lawrence Weiner, Okayama Art Summit 2016
Courtesy of TARO NASU Photo: Yasushi Ichikawa

東京や六本木の歴史や現在にインスピレーションを得た作品が、六本木ヒルズや東京ミッドタウンなど数カ所で展示されます。英語と日本語で書かれた言葉や文字が伝える意味や心象の、翻訳しようとしてもしきれない何かが、作品として提示されます。

No. 13

ローレンス・ウィナー
「HERE FOR A TIME
THERE FOR A TIME
&
SOMEWHERE FOR A TIME」
東京ミッドタウン
ミッドタウン・ガーデンストリート/バー
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料

街なかインスタレーション

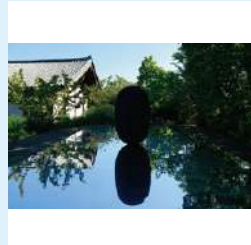


photo: 木奥恵三

宇宙のはじまりをイメージした作品。漆黒のオブジェは全ての始まりの無を連想させ、異次元に開かれた穴のようにも見えます。作品の周りをまわってみると、ゆらめく周囲の景観と相まって視覚的にも感覚的にも不思議な作品体験へと導かれます。

No. 28

キムスージャ
「演繹的なもの」
東京ミッドタウン プラザ1階
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料

街なかインスタレーション



粘土を使って即興で鑑賞者の首像を作るパフォーマンス。日々街ですれ違う他者の顔はどれほどの精度を持って私たちの記憶に残っているのだろうか?これからの人工知能の発展と機械化の精密なプロダクトは、私たちの記憶を鮮明にする?

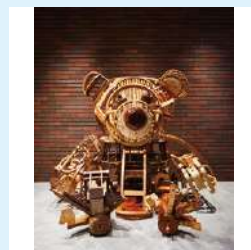
No. 29

古屋崇久
「人工知能による顔の識別」
東京ミッドタウン ガレリア2階
lucien pellat-finet横
9/17, 9/18 11:00~20:00
9/19 11:00~18:00
無料

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#20

No. 30

magma
「ROCK'N」
東京ミッドタウン プラザ1階
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料



WOODY BEAR 2020 © magma Photo by Kenya Chiba

6にまつわるものを題材にしたいという思いから「六感」をテーマにシンボリックなコラージュ作品を制作。

No. 31

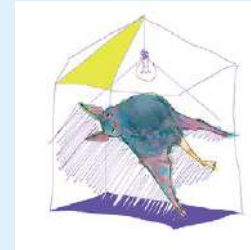
松田将英
「The Big Flat Now」
東京ミッドタウン ガレリア
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料



The Laughing Man (2022), 3D Illustration by Kai Yoshizawa

ナウでフラットな時代に生まれた「THE LAUGHING MAN CLUB」は、攻殻機動隊で知られる「笑い男」と絵文字の「笑い泣き」をマッシュアップしたシリーズ作品。今作ではメディアアーティストのゴッドスコピオンとコラボ。

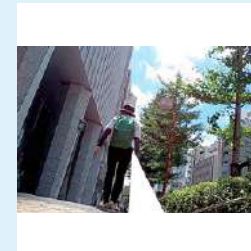
No. 32



牧野永美子
「あかるい場所」
東京ミッドタウン プラザ1階
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料

昼と夜、同じ場所で時間を分けて別々の生き物が共存していることはよくあります。この街ではどうでしょう。夜も煌びやかなこの街では時間的な棲み分けは失われ、私たちはまるで夜行性の動物のように夜の街を飛び回ります。

No. 34



(Where Are We Going?) 2020年

山本千愛
「犬も歩けば棒に当たる」
東京ミッドタウン プラザB1階
東京ミッドタウン各所
9/17, 9/18 13:30~19:00
9/19 13:30~18:00
無料

「12フィートの木材を持ってあるく」プロジェクトは今回、道路使用許可が下りなかった。唯一許された東京ミッドタウンの敷地内をひたすら歩く。鎖に繋がれた庭の犬たちの追体験だ。(本人を見つけて一緒に歩くことが可能です。)

21_21 DESIGN SIGHT共同企画

No. 36



関口光太郎と六本木の人々
「新聞紙とガムテープで包まれた凱旋門とエッフェル塔」
東京ミッドタウン
ミッドタウン・ガーデン
9/17~9/19 10:00~19:00
無料

21_21 DESIGN SIGHT企画展「クリストとジャンヌ＝クロード」"包まれた凱旋門"の関連プログラムとして開催されたワークショップ「みんなの形で凱旋門を包もう(エッフェル塔も!)」で関口と本ワークショップの参加者によって制作されました。

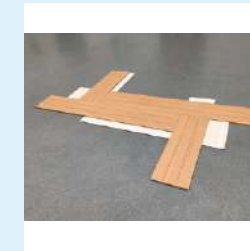
No. 33



坂本洋一
「Floating Surface」
東京ミッドタウン ガレリア1階
9/17, 9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
無料

シリコン製の弦を振動させて水面に見立て、海を切り出したかのような風景を作るインスタレーションです。湖や川、海をただあてもなく眺めてしまうようなことがテクノロジーを用いた自然の見立ての中にも沸き起こるのかを問いかけます。

No. 35



場面 2017年

小野冬黄
「インテリア」
東京ミッドタウン ガレリア3階
IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARK前
9/17, 9/18 11:00~20:00
9/19 11:00~18:00
無料

明確な機能や美しい形などで生活に寄り添う家具や日用品。「インテリア」は配置の方法やもの同士の組み合わせ次第で、「作品」と呼ぶことができるのでしょうか。「インテリア」と「作品」の認識を探ります。

同時開催プログラム

No. 37



現代アート
「アート&キャラクター」
東京ミッドタウン ガレリア1階
ISETAN SALONE
9/14~9/27 11:00~20:00
無料

可愛いキャラクターという一面と、もう一面にある現代アートの意味合いを知ることにより、新たな発見ができる展示となります。今回のメインアーティストであるSKYは、年齢や人種の垣根を越えて、子供時代の記憶に残るラバーダックをキャラクター化しています。その他、有名作家のキャラクターも多数展示いたします。この機会にぜひご覧くださいませ。

サントリー美術館 Suntory Museum of Art

企画展

No. 38

「美をつくし
一大阪市立美術館コレクション」

サントリー美術館 展示室

9/14~11/13 10:00~18:00
※金・土および9/18、9/22、10/9、11/2は10:00~20:00
(最終入場は閉館30分前)
※休館日・毎週火曜日(ただし11/8は18:00まで開館)

一般 1,500円
大学・高校生 1,000円
中学生以下無料



大阪市立美術館のコレクションは、日本・中国の絵画や書蹟、彫刻、工芸など幅広く、時代も紀元前から近代まで実に多彩です。本展では、同館でもそろって展示されることが減多にない名品を館外で初めて一堂にご紹介します。

No. 40

「六本木アートクルーズ」
記録映像上映

サントリー美術館 1階レクチャールーム

9/17、9/18 10:00~20:00
9/19 10:00~18:00

無料



企画協力：国立新美術館、森美術館ラーニング。事前に開催した中高生対象ワークショップの記録映像や制作物を展示します。六本木の美術館をめぐる多様なアートに出会う旅の記録をご覧ください。

No. 39

山中透晶

「飛天—Celestial maiden」

サントリー美術館 6階ホール

9/17 13:30~、15:30~、18:00~
(各回約45分)

無料(別途要入館料)【事前申込優先】



撮影/吉村登

「新たなる伝統の胎動」をコンセプトに、様々な伝統芸能の技法を現代に再構築した、古典×現代ダンスパフォーマンス。ベルシャ、ガンダーラそして日本、悠久の時を超えシルクロードを伝い舞い降りた天衣の煌めく舞をお楽しみください。

制作協力/ (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団

21_21 DESIGN SIGHT

企画展

No. 41

「クリストとジャンヌ=クロード
"包まれた凱旋門"」

21_21 DESIGN SIGHT

6/13~2023/2/12 10:00~19:00
(入場は18:30まで)

※火曜日、年末年始(12/27~2023/1/3)は休館

一般1,200円 大学生800円
高校生500円 中学生以下無料
※ギャラリー3は入場無料



現代美術作家クリストとジャンヌ=クロードの活動の根源と広がりには焦点をあてた展覧会です。2021年9月にパリで実現した「包まれた凱旋門」プロジェクトの背景や制作過程を紹介することで、創造の大きな力に目を向けます。

No. 42

コミュニケーションツアー

21_21 DESIGN SIGHT

9/18、9/19 11:00~12:00
*開始時間までに1階受付へお集まりください。

無料
※当日の入場券が必要です。



写真/吉村昌也

企画展「クリストとジャンヌ=クロード "包まれた凱旋門"」をより深く理解したい方のために、スタッフと一緒に会場を巡る「コミュニケーションツアー」を開催します。事前の申し込みは不要。状況によっては人数を制限させていただく場合がございます。

東京ミッドタウン周辺エリア 参加ギャラリー・施設

Participating Art Galleries & Facilities in the area around Tokyo Midtown

MAP B

特別企画実施

Hideharu Fukasaku
Gallery Roppongi

港区六本木7-8-9 深作眼科ビル1階・B1階

9/17 11:00~19:00
9/18、9/19 休

03-5786-1505

無料

【WEB】 <http://www.f-e-i.jp>
【TW】 @HFG_ginza
【IG】 @hideharufukasakugallery
【FB】 @htgroppongi



三宅葵 (エレベーターデビュー)

系列主催、版画公募展での大賞受賞者、三宅葵による「-日常に潜む煌めき-」展を開催。色彩をあてはめて考えるという作品は色数が多いが統一されたトーンがあり、全体に光が当たっているような心地よさがあります。会期中、来場者には作品のポストカードをプレゼント(先着順)。

MAP C

特別企画実施

フジフィルム スクエア

港区赤坂9-7-3
東京ミッドタウン・ウエスト1階

9/17~9/19 10:00~19:00

03-6271-3350(10:00~18:00)

無料

【WEB】 <https://fujifilmsquare.jp>
【TW】 @FujifilmJP_SQ
【FB】 @FUJIFILMSQUARE



写真文化の発展に貢献してきた富士フィルムが、写真が持つ価値を伝える活動の一環として運営する複合型ショールーム。様々なジャンル写真展をお楽しみいただけます。会期中、来場者には、毎日先着100名様に粗品をプレゼント。

MAP D

特別企画実施

メルセデス ミー 東京/EQ House

港区六本木7-3-10

9/17~9/19 EQ House: 11:00~19:00
/UPSTAIRS: 11:30~22:00

トリアルステーション: 03-3423-1256

UPSTAIRS: 03-3423-8775

無料

【WEB】 <https://www.mercedesme.jp>
【TW】 @mercedesme_jp
【IG】 @mercedesme_jp



久門剛史がメルセデス・ベンツ アート・スコーププログラムでEQ Houseに一週間滞在し制作した新作のインスタレーション作品を展示。2階のレストラン「UPSTAIRS」でアートナイトに来たと言っていたらと食事ご注文の方に限り、ワンドリンクプレゼント!

ザ・リッツ・カールトン東京
六本木アートナイトエクスペリエンス
対象期間:2022年9月17日(土)~19日(月・祝)

都内屈指の眺望を愉しめる客室でのご宿泊とレストランでのご食事に、六本木アートナイト2022 スペシャルチケット(展覧会優待券)*をプレゼント。料金2名様まで122,496円~(参考価格、税金・サービス料込)※チケットは1回のご宿泊につきおひとり様1枚

*森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHTにて開催する展覧会へご入場いただけるほか、国立新美術館の展覧会には100円割引でご入場いただけます。

詳細はこちらのQRコードから
公式ウェブサイトをご確認ください。



国立新美術館

The National Art Center, Tokyo

企画展

No. 43



「ルートヴィヒ美術館展
20世紀美術の軌跡
—市民が創った珠玉の
コレクション」

国立新美術館 企画展示室2E

6/29~9/26 10:00~18:00(最終入場17:30)
※毎週金・土曜日は10:00~20:00(最終入場19:30)
※休館日:毎週火曜日

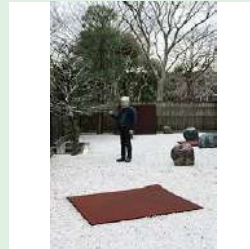
一般 2,000円
大学生 1,200円
高校生 800円

カジミール・マレーヴィチ(スプレムス 38番)
Museum Ludwig, Köln / Cologne, ML 01294.
(Photo: © Rheinisches Bildarchiv Köln, rba_0033965_01)

20世紀美術で名高いルートヴィヒ美術館(ドイツ、ケルン)のコレクション展。作品を寄贈したコレクターたちに着目し、ドイツ表現主義、ピカソ、ロシオ・アヴァンギャルド、ポップ・アートや写真など152点を紹介。

企画展

No. 44



「国立新美術館開館15周年記念
李禹煥」

国立新美術館 企画展示室1E

8/10~11/7 10:00~18:00(最終入場17:30)
※毎週金・土曜日は10:00~20:00(最終入場19:30)
※休館日:毎週火曜日

一般 1,700円
大学生 1,200円
高校生 800円

李禹煥 録音にて、2022年
Photo: Lee Ufan, photo: Shu Nakagawa

戦後日本でもっとも重要な美術動向のひとつ「もの派」を代表する美術家、李禹煥(リ・ウファン、1936年生)の大規模な回顧展を開催します。李の創造の軌跡をたどるとともに、新たな境地を示す新作も発表されます。

No. 45



今井俊介

「untitled」

国立新美術館 1階ロビー

9/14~9/19

無料

今井俊介「untitled」2017年

鮮やかな色彩を用いたハードエッジの絵画で有名な今井俊介。国立新美術館の広大な1階ロビーで、絵画から抽出された色面のパターンをインスタレーションによって展開します。

No. 46



三原聡一郎

「空白のプロジェクト#4
想像上の修辞法」

国立新美術館 館内各所

9/14~9/19

無料

三原聡一郎(空白のプロジェクト#4 想像上の修辞法)2016年
別冊アートファンタジア協力 撮影:山本利

耳を澄ますと館内の各所からさえずりが聞こえてきます。その音を辿ると意外にも木片に挿入したボルトがランダムに回転するデバイスが見つかるでしょう。発生する摩擦音は人工物ながらも生々しい想像上の気配を生み出しています。

No. 47



Photo courtesy: Sony Park Mini

玉山拓郎

「NACT View 01
Museum Static Lights」

国立新美術館 1階ロビー

9/14~12/26
※休館日:毎週火曜日

無料

既存の空間を変容させることを得意とする玉山拓郎による、新作インスタレーションを1階ロビーにて展示。美術館のなかでも強い存在感を放つコーンの形状をモチーフとして扱い、空間全体にまで意識を促す光の作品となります。

同時開催プログラム

No. 49



今井俊介「untitled」2022年

クロストーク:

今井俊介×沢山遼

国立新美術館 3階講堂

9/19 16:00~16:45

無料

国立新美術館のロビーでインスタレーションを発表する今井俊介と、絵画についての鋭い考察で知られる美術批評家、沢山遼によるクロストーク。学生時代からの友人である二人の対談を通じて、今井の絵画の本質とその軽やかな変遷に迫ります。

同時開催プログラム

No. 48



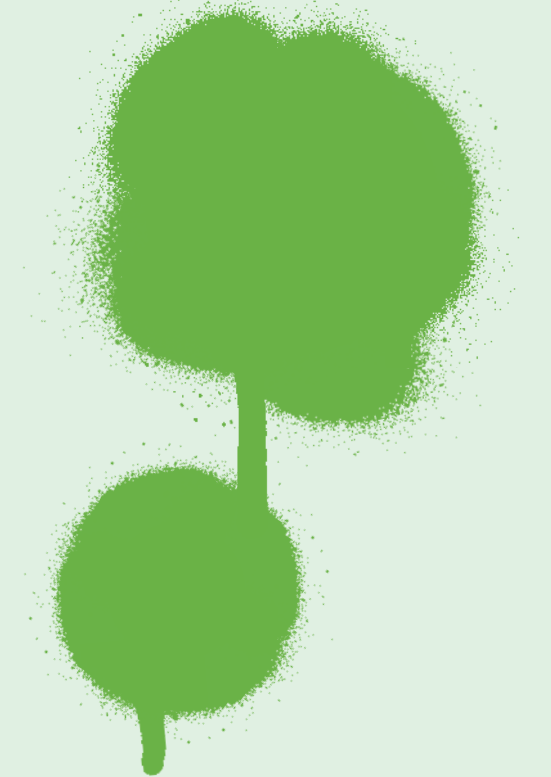
「<公募展>
第106回 二科展」

国立新美術館
公募展示室
1A,1B,1C,1D,2A,2B,2C,2D,3A,3B
野外展示場
A,B,C,D

9/7~9/18 10:00~18:00(最終入場17:30)
9/19 10:00~14:00(最終入場13:00)
※休館日:毎週火曜日

一般1,000円
大学生・高校生800円
中学生以下無料
※9/17~9/19の期間中は
本ガイドブックの提示で入場料金100円引き

主催:公益社団法人二科会
作品ジャンル:
絵画・彫刻・デザイン・写真



六本木交差点/六本木各所エリア Area around Roppongi Intersection / each area in Roppongi

私たちの皮膚の下には、カラフルな血が巡っている

増田セバスチャン
「Polychromatic Skinシリーズ」

私たちの皮膚の下には、カラフルな血が巡っている
—《Polychromatic Skin》はジェンダーに代表される自由と平和の前に立ちはだかる無意識下の固定概念を突き破る・解放する作品シリーズ。
人種・宗教・年齢・性別・国境…
あらゆる壁を突破して繋がる手段を、我々は既に持っている。

街なかインスタレーション



Polychromatic Skin -Gender Tower- イメージ

多種多様なマテリアルを用いて、カラフルなジェンダーを表現したタワー。六本木の交差点にピンを立てます。

No. 50

「Polychromatic Skin -Gender Tower-」

📍 六本木交差点時計塔
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



Polychromatic Skin -Flower- イメージ

真っ白なプランターをカラフルに彩ります。

No. 51

「Polychromatic Skin -Flower-」

📍 六本木交差点プランター
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



Polychromatic Skin -Gender Wall- イメージ

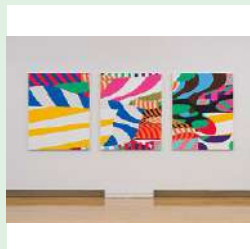
多種多様なマテリアルを用いて、カラフルなジェンダーを表現したウォール。

No. 52

「Polychromatic Skin -Gender Wall-」

📍 ロアビル仮囲い
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



《untitled》2017年

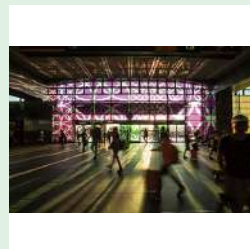
鮮やかな色彩を用いたハードエッジの絵画で有名な今井俊介。絵画から抽出された色面のパターンを、六本木交差点にある高速道路の橋脚に出現させます。三次元に展開された絵画的リユージョンをお楽しみください。

No. 53

今井俊介
「untitled」

📍 六本木交差点橋脚
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



《窓》2018年 展示風景：台湾高速鉄道、台中駅

東京と六本木にインスピレーションを受けた新作では、ジオットハウスと六本木ヒルズ・ウェストウォーク南のファサードという規模も背景も異なる2つの場所で、台湾の伝統的な格子窓から流用したコイン模様のモチーフが展開されます。

No. 12

マイケル・リン
「窓」

📍 ジオットハウス
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



《WHITE CUBE -WHITE CUBE 2018》、アートフロントギャラリー、写真：野口浩史

PCの中の六本木の建物空間を仮想空間として描き、その仮想空間の中に出て見た世界を現実空間に戻して展示します。今回はさらに視覚的なトリックの要素を加え、見る人が視点を動かすことで不思議な歪みを体験させます。

No. 54

原田郁
「WHITE CUBE - WHITE CUBE - ROPPONGI 2022」

📍 第1レーヌビル1階
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



photo: Daisaku OOZU

ストリート・アート界で活躍する気鋭の作家による、大型の新作絵画作品。かつてコンビニエンスストアだった空き店舗で、消費社会に生きる人間のあり方について疑問を投げかけます。作家の真骨頂であるブラックユーモアが強く感じられます。

No. 56

リヴァ・クリストフ
「人間自動販売機」

📍 矢口ビル1階
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



©2019 GengoRaw

Twitterのトレンドワードをもとに、AIが次々と詩を生成するインスタレーション作品。我々を取り巻くコトバとメディアの現在を描き出す。

No. 55

GengoRaw (石橋友也+新倉健人)、吉田竜二、二口航平、吉田智哉

「バズの囁き」

📍 イグノポール1階
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



画面の中には人が住んでいます。どこの誰かもわからない。関わる事ができるのは数秒間だけ…。私たちは、日常の一部として見かけるようになった消毒液のディスペンサーをインターフェースと捉えなおし、新たな映像再生装置として六本木アートナイトの各所に設置/展示します。見つけたら、消毒をしながら部屋を覗いてみてください。

No. 09

ノラ・デザインコレクティブ
「つかの間」

📍 ラビロス六本木、イグノポール1階
🕒 9/17、9/18 10:00~22:00
9/19 10:00~18:00
🆓 無料

街なかインスタレーション



作家の住む取手は自転車の街として栄えようとしたが、いまそんな取手も自転車が大量に放置され、破棄されています。作家の制作活動によって自転車は生まれ変わり、持ち主の記憶の断片をも集め、時間の静止した自転車に新しい命を吹き込みます。

No. 57

東弘一郎
「無限車輪」

📍 六本木西公園
🕒 9/17~9/19 10:00~18:00
🆓 無料



六本木交差点/六本木各所エリア Area around Roppongi Intersection / each area in Roppongi

三河台公園 六本木をつかまえる

街なかミーティング

No. 58



岩田とも子
協働制作 港区立六本木中学校美術部

「地面をつかまえる
-六本木の地図づくり-」

📍 三河台公園

🕒 9/17~9/19 10:00~18:00

🎫 無料

「地面をつかまえる」をつかまえる絵

地図とは、人の足跡や眼差しによって地面を宿した道具である。道は歩みで繋がり交差して、光や眺めはうつろい続ける。まるで呼吸しながら進化する生きもののような。そんな地面をつかまえて《地面の地図》を出現させる。

街なかミーティング

No. 59



水川千春

「花の茶室
-つながる水脈-」

📍 三河台公園

🕒 9/17~9/19 10:00~18:00

🎫 無料

「花のつぼみ」2021、素材・海水、塩、紙

海からこの地に来たものたち。くり返すループと共に、かたちを変えながら、これからも花は咲き続けていく。今日のつばやき、この一杯は、次の季節へ続く花のつぼみ。茶室の壁面は、海水を使った、あぶりだしという技法で描かれています。

六本木商店街 Roppongi Shopping Street



No. 60

「六本木街路灯展覧会」

📍 六本木交差点街路灯

🕒 9/3~ 🎫 無料

六本木商店街が設置しているスマート街路灯のデジタルサイネージを使って、六本木フォトコンテストや六本木デザイナーズフラッグ・コンテストの優秀作品を掲載展示いたします。

六本木交差点/六本木各所エリア 参加ギャラリー・施設

Participating Art Galleries & Facilities in the area around Roppongi Intersection/each area in Roppongi

MAP E

特別企画実施



@art gallery closet

art gallery closet

📍 港区西麻布2-11-10 霞町ビル3階

🕒 9/17, 9/18 休
9/19 11:00~21:00

☎ 03-5469-0355

🎫 無料

[WEB] <http://www.gallery-closet.jp>

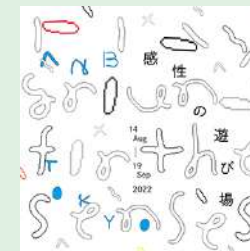
[IG] @artgallerycloset

[FB] @artgallerycloset

「松橋 孝 展」を開催致します。9/19(月・祝)は、ご来場の方にソフトドリンクを1杯サービス致します。是非ご高覧ください。※六本木アートナイト開催期間中は営業時間が通常と異なりますのでご注意ください。

MAP F

特別企画実施



ANB Tokyo

📍 港区六本木5-2-4

🕒 9/17~9/19 11:00~18:00

🎫 500円 ※学生ほか無料・割引条件あり(詳しくはWEBへ)

[WEB] <https://taa-fdn.org>

[IG] @anb_tokyo

[FB] @taa.fdn

観察、所有、消費をキーワードに「感性の遊び場」展を開催。複製可能な素材・技術を用いて表現する作家や、既製品やデジタルイメージから〈もの〉の見え方を追求する9名の作家が参加。9/18(日)・19(月・祝)には企画者によるツアーを実施。詳細は公式ウェブサイトをチェック!

MAP G

特別企画実施



@Whatever

WHEREVER

📍 港区六本木7-2-8

🕒 9/17, 9/18 11:00~20:00
9/19 休

🎫 無料

[WEB] <https://whatever.co/nandemo-day/>

[TW] @Nandemo_day

[IG] @nandemo_day

様々なジャンルのクリエイターが集う創作の場「WHEREVER」のビルを1棟使い、9/17(土)・18(日)にクリエイティビティを愛でるイベント「六本木なんでもデイ」を開催。写真、映像、プロダクト、テクノロジー等ジャンルレスな表現の展示やイベントを行います。

MAP I

特別企画実施



pairing-アートと日本酒

605

📍 港区六本木7-5-11 カサグランデミ7605

🕒 9/17 12:00~20:00
9/18, 9/19 12:00~19:00

☎ 090-2941-7096

🎫 無料

[TW] @Roppongi605

[IG] @605gallery

[FB] @605gallery

「pairing-アートと日本酒」と題し、美術鑑賞が大好きな利き酒師・松井かおりが選んだ5名の作家による作品と5銘柄の日本酒とのペアリングを展示します。9/17(土)17時より、実際に作品を鑑賞しながら、そこから連想された日本酒をお楽しみいただけます。

MAP H

特別企画実施



@naomi yuki

KURUM'ART contemporary (605)

📍 港区六本木7-5-11 カサグランデミ7605


🕒 9/17 12:00~20:00
9/18, 9/19 12:00~19:00

☎ 090-8343-9580

🎫 無料


[WEB] <http://kurum-art.com>

NAOMI YUKI展を開催します。NAOMI YUKIは大阪を拠点に活躍しており、独特の空気感の抽象画は海外でも注目されています。9/17(土)17時から「605」の「pairing-アートと日本酒」と合同で、作品と一緒に日本酒の試飲をお楽しみいただけます。

インクルーシブ・アート・プログラム 




六本木アートナイト2019 撮影:越岡有紀子

 六本木アートナイト会場各所 / オンライン


六本木アートナイトを、視覚障害のある人、聴覚障害のある人とともに巡るツアーを開催します。参加者同士対話をしながら、作品鑑賞を楽しみましょう。オンライン鑑賞会も実施します。

※障害の有無や種別に関わらずご参加いただけます。

企画協力: NPO法人エイブル・アート・ジャパン


 無料 / 要事前申し込み

※申し込み方法等の詳細は、公式サイトにて告知します。

外国語ガイドツアー Wander & Wonder Tour 




©2018 Kenji Seo

 六本木アートナイト会場各所


アートで自分の街を再発見しよう! 英語を用いた作品鑑賞ツアーを開催します。コロナ禍で東京や国際色豊かな六本木をもうひとつの故郷としている方も多いでしょう。ツアーでは、自分のルーツや思い出を参加者と共有し、さまざまな視点を持ち寄りながら、作品や街について対話していきます。作品をより深く味わいながら、今暮らしている場所を再考していくきっかけをつくります。

企画協力: ラナ・トラン

 無料 / 要事前申し込み

※申し込み方法等の詳細は、公式サイトにて告知します。

プログラム①オンライン鑑賞会
「みんなdeおしゃべり鑑賞会
-六本木アートナイト-」

 9/18 18:00~20:15


全国どこからでも参加が可能! 見えない人や聞こえない人たちと共に作品を楽しみます。お話しできる場所で、ぜひリラックスしてご参加ください。

対象: 視覚障害のある人、聴覚障害のある人、オンライン鑑賞会に関心のあるすべての人 (定員10名程度)

参加方法: Zoomを使用します

※手話通訳あり

プログラム②鑑賞ツアー
「鑑賞ツアーde大冒険!
-六本木アートナイト-」


 9/19 14:00~16:00

みる、きく、はなす、そして感じる。さまざまなコミュニケーションで、アートナイトと一緒に冒険! 六本木アートナイトの作品をのびのび自由にたのびましょう。


対象: 視覚障害のある人、聴覚障害のある人、車椅子やベビーカー等を利用する人、鑑賞会に関心のあるすべての人 (定員10名程度)

※手話通訳あり

「Wander & Wonder Tour」9/17

 9/17 17:00~19:30

「Wander & Wonder Tour」9/18

 9/18 17:00~19:30

ファシリテーターの案内のもと、街中に出没する作品を鑑賞。六本木アートナイトならではの、街中に出没する作品を味わい、街を練り歩きながら、自身のルーツと東京・六本木の街を照らし合わせていきます。

※各日のツアーは同じ内容です。

応援メッセージの紹介

2021年に公式YouTubeチャンネルでライブ配信を行ったトーク番組「RAN PR Culture Cross Talk」へ出演したゲスト・MCから六本木アートナイトへの応援メッセージをご紹介します!



食事をしながらカジュアルに楽しめるのが良いですね。きっとアートがより身近なものに感じられる。僕もぜひ遊びに行きます。

長塚健斗
(「WONK」ボーカル)

アーティストたちがどんなポジティブな未来を見据えているのか、ドラえもんを通じて想像するのが楽しそうです。ドラえもんはポジティブな未来の象徴です。アートの専門知識がなくても体験できるはずですよ。

村上要
(「WWDJAPAN」編集長)

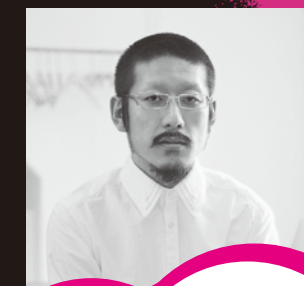
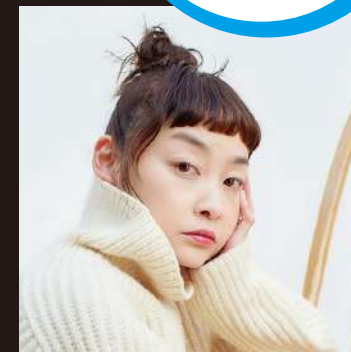


参加したい! 六本木アートナイトに(僕らが)忘れられたくないの、常連になりたいです。そして、JARTをきっかけにアートを知らせてもらうためにも、ぜひ今回のアートナイトにねじ込ませてもらって...。仮に参加できなくても、見に来ますけどね。

JART
(福徳秀介、後藤淳平、倉本美津留)
(アートユニット)

色んなドラえもん探しをしたいから、女の子はヒールじゃなくてスニーカーで遊びに行くのがおすすめです!

シトウレイ
(ストリートスタイルフォトグラファー / ジャーナリスト)

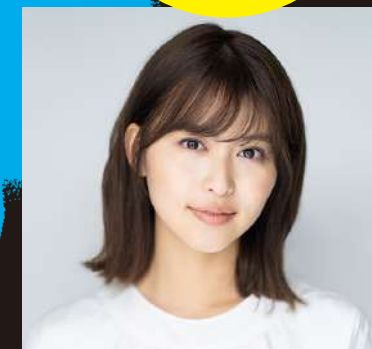


学生の頃、友達四人で遊びに行きました。夜中まで六本木じゅうに見どころがあって、お祭りみたいですごく楽しかった! 今まで我慢していた分、今年はさらなるエネルギーを期待できそう楽しみです。

三原勇希
(タレント/ラジオDJ)

六本木アートナイトは、街とアートをつなぐ装置であり、日常と非日常をつなぐ道具です。まるでドラえもんのひみつ道具のように、日常で見過ごされてしまうほどの、ほんのすこしの非日常を教えてください。

森永邦彦
(ANREALAGEデザイナー)



「RAN PR Culture Cross Talk」のアーカイブは六本木アートナイトの公式YouTubeチャンネルでご覧頂けます。



「六本木アートナイトデジタル 2022」

📍 **オンライン**
(公式ウェブサイト、公式YouTubeチャンネル[RAN TV])

🕒 **9/3 ~**
公式ウェブサイトや公式YouTubeチャンネル【RAN TV】より、オープンコール・プロジェクトの採択映像作品や六本木アートナイトの振り返りトーク、記録動画などを公開します。六本木アートナイト本番開催に先駆け、9月3日(土)より順次コンテンツを配信いたします。六本木アートナイト2022の参加アーティストからのコメントは、随時公式SNSや公式YouTubeチャンネル【RAN TV】にてアップ予定です。



公式ウェブサイト



公式YouTubeチャンネル[RAN TV]



案内役：南條史生
(六本木アートナイト2009-2019
実行委員長、森美術館特別顧問)

「南條史生氏による
六本木アートナイトの
振り返りトーク」

📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 公開日：9/3~

元実行委員長である南條史生氏が、初年度(2009年)~2019年まで、歴代のメインアーティストからのコメントとともに六本木アートナイトを振り返りました。(収録：2021年夏)



地代所悠
「Blurred Boundaries」

📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

プログラムで生成した旋律にコントラバスの即興演奏を重ね、その映像とCGアニメを組み合わせることで、即興と再現、現実と虚構、ヒトとコンピュータ、背反する二つの要素をモニターを通してその境界をぼやかすことを試みた映像作品です。



C for S
(Moeko Ishiguro, Masumi Inoue)
「Choreography of encounters」

📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

日常的な動きを空間に対して丁寧に、人と空間の相互作用によって生まれるセノグラフィを探求しています。本作では公共空間での動きを記録、編集し、音を付加することで、身体と空間の関係、その組み合わせによって生じるイメージの可能性を表現しています。作曲：マラン・エスカンドウ



長谷川依与
渡川いくみ
「sure」
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

ロックダウンのバリでレジデンスを行なった長谷川は、タイルの目地合わせに使用されるクリップを部屋に敷き詰め、はかることの「正確さ」を問いかける。このインスタレーションの中で、ダンサーの渡川は身体ではかることが生み出す新たな空間性を提案する。



原啓太
「Paper Thin」
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

和紙、おばけ、ネオンの夢。近くて遠いこの国で、私は回想する。高知県を舞台に、日常生活から姿を消しつつある和紙と私の記憶をつなぐ物語。本作に登場するペーパーマンは、土佐和紙でつくられました。



坂根大悟
「東京曼荼羅」
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

この作品は動的平衡的映像空間を追い求める作者の脳内で再構成された東京を表現したものです。東京は常に破壊と創造が高速で行われている街です。こうした相反するものを表現するためにコラージュとサイケ表現を用いました。



コントーショングループ・ノガラ
「しなやかに生きる
~曲がる人々~」
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

「曲がり」がいま、平穏な街にじわじわと浸透している…。日常に溶け込む非日常。あなたはもう遭遇した?コントーションリストたちによる、ぐにゃぐにゃ軟体エンターテインメント!



コメカミワークス

コメカミワークス
「コメカミマスター
「東京ミッドタウン」」
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9/3~

あらゆる物体や場所、方法でボールをこめかみに乗せる「コメカミマスター」がアートとデザインの街、六本木・赤坂エリアの中心にある東京ミッドタウンに出現。東京ミッドタウンでこめかみにボールを乗せる、シンプルな動きで構成された映像です。



©2022 Takashi Murakami/
Kikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.
©MADSAKI/Kikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

六本木アートナイト 2022の全参加作品を紹介

六本木アートナイト
2022 アーカイブ
📍 公式ウェブサイト
公式YouTubeチャンネル[RAN TV]
🕒 9月下旬(予定)



六本木アートナイト2019 深夜3時に開催した
近藤良平とその仲間たち「六本木夜舞場 Vol.7(真夜中の盆踊り)」

六本木アートナイト
2009—2019開催記録 Part1
📍 公式ウェブサイト
🕒 未定

参加アーティストや実施プログラム、様々なデータなど、過去10回にわたる六本木アートナイトの全容を各回ごとにまとめた記録集の前半部分を公開します。

エリア協賛

Area Sponsors



サントリーウイスキー響



アクトホールディングス株式会社

協賛



株式会社アルタイル



株式会社オリコム

協賛

Sponsors



株式会社共立



株式会社ジールアソシエイツ



笑遊堂



飯田電機工業株式会社



株式会社クオラス



シンテイ警備株式会社



大成株式会社



株式会社つむら工藝



株式会社東京タカラ商会



株式会社
テンナイン・コミュニケーション



株式会社トランジット
ジェネラルオフィス



中村展設株式会社



株式会社コングレ



TSP太陽株式会社



富士急グループ
株式会社フジエクスプレス



株式会社ブランコ



ピーディーシー株式会社

特別助成
Special Grant From



台湾文化部

開催概要

開催日時	2022(令和4)年9月17日(土)～9月19日(月・祝)10:00～22:00(※19日のみ18:00まで) ※9月3日(土)～ 一部作品は先行展示 ※一部、開催時間の異なる会場あり
開催場所	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、 国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース デジタル>YouTube チャンネル「RAN TV」 https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight
入場料／視聴料	無料(但し、一部のプログラム及び美術館企画展は有料)
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会 【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、 六本木商店街振興組合(五十音順)】
助成	令和4年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業
特別助成	台湾文化部
特別協力	藤子プロ
後援	経済産業省、台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター、 今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、 六本木ヒルズ自治会、六本木「Art&Designの街」推進会議、テレビ朝日
エリア協賛	サントリーウイスキー響
協賛	飯田電機工業株式会社、株式会社クオラス、株式会社東京タカラ商会、 株式会社コングレ、TSP太陽株式会社、ピーディーシー株式会社、 アクトホールディングス株式会社、株式会社アルタイル、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社ジールアソシエイツ、 笑遊堂、シンテイ警備株式会社、大成株式会社、株式会社つむら工藝、株式会社テンナイン・コミュニケーション、 株式会社トランジットジェネラルオフィス、中村展設株式会社、富士急グループ 株式会社フジエクスプレス、 株式会社ブランコ
運営協力	六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ
協力	株式会社シネ・フォーカス、株式会社セイビ堂
協力ホテル	グランド ハイアット 東京、ザ・リッツ・カールトン東京

関係者一覧

アドバイザーボード	安藤忠雄、齋藤精一、椿昇、日比野克彦、ヤノベケンジ、森佳子(森美術館)
実行委員長	片岡真実(森美術館)
主席実行委員	逢坂恵理子(国立新美術館)、松方一雄(サントリー美術館)、藤山吾朗(東京ミッドタウン)、 佐藤卓(21_21 DESIGN SIGHT)、小笠原正彦(森ビル)、臼井浩之(六本木商店街振興組合)
実行委員会	長屋光枝、河北百合、米田尚輝、伊志慧、古澤美久、野尻直裕(国立新美術館)、立松克一、矢澤滋人、関香澄(サントリー美術館)、 加藤貴夫、池田卓、川口弘記、鈴木麻理奈、富江文子、下村富実(東京ミッドタウン)、中洞貴子、 船山洋平(21_21 DESIGN SIGHT)、岡本次郎、松島義尚、三戸和仁、寺田隆、田中美知子、椿玲子、小山田洋子、 山崎みず穂、山縣青矢、品川知子、洞田貫晋一朗、小野真歩、島田康平(森美術館)、山本栄三、武村俊、 村岡真哉、山村麻里恵、木村さえ子、長谷川聡子、松本雅樹、加藤宗衛、佐々木悠理、阿曾沼加廉(森ビル)、堀井健一、 水野太郎、榎川剛成(六本木商店街振興組合)
実行委員会事務局	事務局長／三戸和仁(森美術館) 副事務局長／武村俊、木村さえ子(森ビル) プログラム／武村俊、木村さえ子、長谷川聡子、加藤宗衛(森ビル)、 田中美知子、椿玲子、小山田洋子、山崎みず穂、山縣青矢(森美術館) 協賛／松本雅樹、阿曾沼加廉(森ビル)、品川知子(森美術館)、伊東良祐(東京ミッドタウン) アドミニストレーション／三戸和仁、寺田隆、小野真歩、島田康平(森美術館)
アドミニストレーション事務局	株式会社countroom(五藤真、田中克典、山本晴歌)、戸塚愛美、山里真紀子
プログラム制作事務局	有限会社 笑遊堂(村田康晴、狩野大地、石田志津香)
プログラム企画協力	チカソシキ(臼井ちか)、NPO法人虹色の風(平山淳子)
運営統括事務局	株式会社クオラス(齋藤暢夫、瀧寛)
広報プロモーション部会	石川葉月、オエットリ愛子(国立新美術館)、吉岡泉、光田晶(サントリー美術館)、 俵田真衣、臼井文香、田中薫(東京ミッドタウン)、 中洞貴子、大江優美(21_21 DESIGN SIGHT)、 松島義尚、洞田貫晋一朗、土井慶子(森美術館)、山村麻里恵、佐々木悠理(森ビル)、 水野太郎、榎川剛成(六本木商店街振興組合)
広報プロモーション事務局	PR01.(株式会社ワンオー)、篠原礼子(liil inc.)
宣伝美術	groovisions、有限会社カイカイキキ
ガイドブック・ウェブサイト制作	新井慶太(Build)、渡部彩香、土居りさ子、棚橋千秋(Playce)、米津いつか、中尾悠 杉江裕視(märk lab)、株式会社ラポールユナイテッド
お問い合わせ	①050-5541-8600(ハローダイヤル)年中無休(9:00～20:00)②03-6406-6799(2022/9/17～19のみ)

※すべてのプログラムの内容は当日の天候や諸般の事情により、予告無く変更または中止をする場合がございます。公式ガイドブックに記載されていない追加情報や変更等は、公式ウェブサイトに記載しております。